

感染症発生動向調査 病原体検出状況

栃木県保健環境センター及び宇都宮市衛生環境試験所では、感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、県内の医療機関において患者から採取された検査材料について、病原体の検出を行っています。

2020年1月から12月の病原体検出状況について、次のとおり報告します。

※本報告では、確定診断に至っていない疑い症例も含んでいます。

1 栃木県保健環境センターにおける病原体検査実施状況について

(1) 搬入状況

月別検体搬入状況を表 1-1 に示しました。

検体数は 113 件で、内訳は、全数把握疾病が 89 件 (78.8%)、定点把握疾病が 20 件 (17.7%)、その他が 4 件 (3.5%) でした。全数把握疾病 89 件のうち、三類が 32 件、五類が 57 件となっています。

疾病別の内訳は、腸管出血性大腸菌 (以下「EHEC」) 感染症が 32 件 (28.3%)、麻疹が 21 件 (18.6%)、風しんが 15 件 (13.3%)、インフルエンザが 15 件 (13.3%) 搬入されました。また、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (以下「CRE」) 感染症、急性脳炎、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、無菌性髄膜炎などの検体が搬入されました。

(2) 検査方法等

国立感染症研究所の病原体検出マニュアル及び厚生労働省通知の方法などを参考に検査を実施しました。

(3) 結果

月別病原体検出状況を表 2-1 に、病原体検出状況一覧を表 3-1 に示しました。また、疾病別病原体検出状況を表 4-1 に示しました。

ア 全数把握疾病

- ・ EHEC 感染症患者由来検体からは、EHEC が 32 株 (O157 : 21 株、O103 : 2 株、O26 : 5 株、O 型別不能 : 4 株) 検出されました。
- ・ つつが虫病患者由来検体からは、*Orientia tsutsugamusi* (Karp 型) が 1 件検出されました。
- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者由来検体からは、A 群溶血性レンサ球菌が 1 株 (T 型別不能) 検出されました。
- ・ CRE 感染症患者由来検体からは、カルバペネマーゼ非産生株が 6 株検出されました。
- ・ 急性脳炎患者由来検体からは、インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型が 2 件検出されました。
- ・ 風しん患者由来検体からは、風しんウイルスが 1 件 (遺伝子型 1a)、パルボウイルス B19 が 1 件検出されました。

- ・麻疹患者由来検体からは、パルボウイルス B19 が 2 件、ヘルペスウイルス 6 型が 2 件検出されました。

イ 定点把握疾病

- ・インフルエンザ患者由来検体からは、インフルエンザウイルスが 20 件検出されました。内訳は、インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型が 17 件、インフルエンザウイルス B 型（ビクトリア系統）が 3 件検出されました。
- ・無菌性髄膜炎患者由来検体からは、ムンプスウイルスが 1 件検出されました。

2 宇都宮市衛生環境試験所における病原体検査実施状況について

(1) 検査状況

月別疾患別検査状況を表 1-2 に示しました。本報告では、確定診断に至っていない疑い病名についても、確定診断名に含めて分類しました。

検体数は 58 件でした。内訳は、全数把握疾患が 43 件（二類：9 件、三類：7 件、四類：3 件、五類：24 件）、病原体定点対象疾患が 15 件でした。

搬入検体の疾患別の内訳は、インフルエンザが 15 件（25.9%）と最も多い状況でした。次いで、急性脳炎が 12 件（20.7%）、結核が 9 件（15.5%）、EHEC 感染症が 7 件（12.1%）、CRE 感染症が 7 件（12.1%）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が 3 件（5.2%）、レジオネラ症が 2 件（3.4%）、日本紅斑熱が 1 件（1.7%）、バンコマイシン耐性腸球菌感染症が 1 件（1.7%）、先天性風しん症候群が 1 件（1.7%）、搬入されました。

(2) 検査方法等

国立感染症研究所の病原体検出マニュアル及び厚生労働省通知の方法などを参考に検査を実施しました。

なお、日本紅斑熱患者由来検体は国立感染症研究所へ検査依頼しました。

(3) 結果

月別病原体検出状況を表 2-2 及び表 3-2 に示しました。また、疾患別病原体検出状況を表 4-2 に示しました。

ア 全数把握疾患

- ・結核患者由来検体からは、非北京型 5 株（患者 2 名）、北京型 ST3 群 2 株（患者 1 名）、北京型 ST25/19 群 2 株（患者 1 名）が検出されました。なお、非北京型について患者間で VNTR12 で数字パターンの一致を認めませんでした。
- ・EHEC 感染症患者由来検体からは、EHEC 7 株（O157：4 株、O113：1 株、O103：1 株、O111：1 株）が検出されました。
- ・レジオネラ症患者由来検体からは、*Legionella pneumophila* 1 群が 2 株検出されました。
- ・急性脳炎患者由来検体からは、ヒトヘルペスウイルス 6 型が 1 件検出されました。
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者由来検体からは、B 群溶血性レンサ球菌が 1 株（Ⅲ型：1 株）、G 群溶血性レンサ球菌が 2 株検出されました。

- ・CRE 感染症患者由来検体からは、*Enterobacter cloacae* が 5 株検出され、うち 2 株が IMP 型 Metallo- β -lactamase 産生株でした。また、*Enterobacter aerogenes* が 2 株検出されましたが、主要なカルバペネマーゼ遺伝子（IMP 型、NDM 型、KPC 型及び OXA-48 型）は検出されませんでした。

イ 定点把握疾患

- ・インフルエンザ患者由来検体からは、インフルエンザウイルス 15 件が検出されました。内訳は、インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型が 11 件、インフルエンザウイルス B 型（ビクトリア系統）が 4 件検出されました。